

# FAX申込書

この用紙にご記入の上、切り取ってFAXで送信してください

|                                             |      |             |
|---------------------------------------------|------|-------------|
| ふりがな                                        | 性別   | 年齢          |
| 名前                                          |      | 歳           |
| 住所 〒                                        |      |             |
| メールアドレス                                     |      |             |
| 電話番号<br>もっともつながりやすい番号を<br>記入してください。         | —    | —           |
| 最終学歴                                        | 年    | 高校<br>大学 卒業 |
| テキスト購入<br>テキストは講義で使します。<br>お持ちでない方はご用意ください。 | 希望する | 希望しない       |
| 履修科目 希望する科目に○を記入してください。                     |      |             |
| 仏教学概説                                       |      | 仏教学講読Ⅰ      |
| 仏教学講読Ⅱ                                      |      | 真宗学概説       |
| 高田の宗風                                       |      | 真宗学講読Ⅰ      |
| 真宗学講読Ⅱ                                      |      | 真宗学講読Ⅲ      |
| 真宗史概説                                       |      | 真宗教学史       |

QRコードから  
お申し込みの方は  
こちらのQRコードより  
アクセスしてください。



メールでお申し込みの方は上記内容を入力いただき  
下記アドレスまでメールでお送りください。

**b-center@takada-jc.ac.jp**

受付期間:3月1日(火)～3月25日(金) ※電話でのお申し込みはご遠慮願います。

問い合わせ先 **高田短期大学仏教教育研究センター仏教専門講座係**

〒514-0115 三重県津市一身田豊野195

TEL059-232-2310(代表) FAX059-232-6317 E-mail:b-center@takada-jc.ac.jp

令和4年・5年度 高田短期大学仏教教育研究センター

## 仏教専門講座

高田短期大学仏教教育研究センターでは、高田本山からの寄附によって履修証明プログラム「仏教専門講座」を開講いたします。本プログラムでは、仏教を開かれた釈尊の教えや真宗の宗祖親鸞聖人が歩まれた仏道を学ぶことができます。多くの方のお申し込みをお待ちしております。

### 履修証明プログラム

#### 履修証明制度について

平成19年の学校教育法の改正により、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校(以下「大学等」という。)における「履修証明制度」が創設されました。これは、大学等の積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等の学生以外の者を対象とした、一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できるという制度です。

#### 本学の履修証明プログラム

- 仏教に関する科目を3科目、真宗に関する科目を7科目、計10科目を開講します。
- 履修期間は2年1クールとし、各年度で5科目ずつの開講を予定しています。なお、2年での受講が困難な場合、複数年かけて履修することもできます。
- すべての科目を履修し、すべての試験に合格された方には「履修証明書」を交付します。
- 「履修証明書」が交付された方は、高田派の学会「助教」を取得することができます。詳細は高田本山宗務院までお問い合わせください。

### プログラム概要

#### 履修期間

令和4年4月～令和6年3月

令和4年度日程

4月22日(金)、5月27日(金)、6月24日(金)、7月29日(金)、9月30日(金)、10月28日(金)、11月25日(金)、12月16日(金)、令和5年1月27日(金)、2月24日(金)、3月3日(金)

\*令和5年度の日程は未定です。

#### 開講科目

「仏教学概説」「仏教学講読Ⅰ」「高田の宗風」「真宗学講読Ⅰ」「真宗学講読Ⅲ」

\*残りの講座につきましては、令和5年度に開講を予定しています。

#### 場 所

高田会館 三重県津市一身田町2819

#### 時 間

9:00～17:50

1時限 9:00～10:30 真宗学講読Ⅲ 4時限 14:40～16:10 高田の宗風  
2時限 10:40～12:10 仏教学講読Ⅰ 5時限 16:20～17:50 真宗学講読Ⅰ  
3時限 13:00～14:30 仏教学概説

#### 定 員

40名 \*定員に達し次第締め切ります。

#### 受講対象者

仏教および真宗を学びたい方

#### テキスト

『真宗高田派聖典』15,000円 春秋社 真宗高田派聖典編纂委員会編

## 各科目の概要

### 仏教学概説

●講 師

安藤 章仁

仏教教育研究センター研究員  
早稲田大学日本宗教文化研究所  
招聘研究員

●講義内容

仏教とは何か。二つの方向から考えてみたいと思います。一つは、仏教の教理からです。大まかに仏教東漸の歴史的展開をふまえつつ、体系的に把握します。あわせて仏教を理解するために必要な基本的な言葉(思想)の意味やその背景をわかりやすく解説します。もう一つは、仏教を求め学ぶ姿勢からです。インド、中国、朝鮮半島、日本における先達の仏道の生き方を紹介しながら、仏教を学ぶ意味、仏道を歩む意味、豊かに生きる意味を求道的に考えたいと思います。

### 仏教学講読Ⅰ『仏説無量寿経』

●講 師

清水谷 正尊

仏教教育研究センター研究員  
高田短期大学非常勤講師

●講義内容

真宗の根本経典で、「浄土三部経」の中心である『仏説無量寿経』(略して『大経』)を学びます。親鸞聖人が「真実の教」と仰がれた『大経』には、阿弥陀仏がどのように私たちを救うのかという衆生救済の根本原理が説かれています。この『大経』を読むことで、私たちにかけられた阿弥陀仏の願いとその救済のはたらきを学んでいきたいと思っています。

### 仏教学講読Ⅱ『仏説観無量寿経』『仏説阿弥陀経』

●講 師

藤田 正知

仏教教育研究センター研究員  
高田中・高等学校教諭

●講義内容

親鸞聖人が拠り所とされた「浄土三部経」の中から『仏説観無量寿経』(略して『観経』)と『仏説阿弥陀経』(略して『小経』)を学びます。『観経』には極重の悪人が他力念仏によって救済されること、『小経』の本意にも他力念仏の教えが説かれています。これらの経典に触れることで、凡夫が救済される他力念仏の教えを学んでいきたいと思っています。

### 真宗学概説

●講 師

松山 智道

仏教教育研究センター長  
高田短期大学特任講師

●講義内容

親鸞聖人は、「念仏成仏これ真宗」と言われました。その真宗における救済思想について考えたいと思います。まず、親鸞聖人のご生涯においてその救済思想がどのように形成されたかを概観し、さらに聖人によって明かされる真宗の救済構造を把握するとともに、真宗の教えから見出される人間観や人生観についても探求してみたいと思います。

### 高田の宗風

●講 師

島 義恵

仏教教育研究センター研究員

●講義内容

高田派第10世真慧上人の著作である『顕正流義鈔』や『御書』などから高田派の宗風を学びます。その際、当時の本願寺教団、蓮如上人との関わりについてもみていくことで、真慧上人の教えがよりはっきりと見えてくると思います。

### 真宗学講読Ⅰ『教行証文類』

●講 師

金信 昌樹

仏教教育研究センター研究員

●講義内容

親鸞聖人の主著『顕浄土真実教行証文類』(略して『教行証文類』、通称「教行信証」)を講読します。この書は、二回向四法の浄土真宗の教義の綱格をもって「教」、「行」、「信」、「証」、「真仏土」、「化身土」の六つの文類から組織されています。それらは、三経七祖の著述を中心とした経典、論書、釈文の引用とそれらに拠って記述された聖人の言葉(通称「御字釈」)から構成されています。この講座では、「御字釈」を中心に読み聖人の選択本願念仏思想、信仰を学んでいきたいと思っています。

### 真宗学講読Ⅱ「念仏正信偈(文類偈)」

●講 師

中川 結幾

仏教教育研究センター研究員  
高田中高等学校非常勤講師

●講義内容

夕方のお勤めで広く用いられる「念仏正信偈(文類偈)」を読み解きながら、七高僧の意を受け、親鸞聖人が明らかにされた浄土真宗の教義を味わっていききたいと思います。

### 真宗学講読Ⅲ「三帖和讃」

●講 師

佐波 真

仏教教育研究センター研究員

●講義内容

「三帖和讃」は、親鸞聖人撰述の『浄土和讃』、『浄土高僧和讃』、『正像末法和讃』です。真宗高田派には親鸞聖人の筆跡のある国宝本「三帖和讃」、高田派第三世顕智上人書写『浄土和讃』、『正像末法和讃』があり、大切にされてきました。本講読では「三帖和讃」を概観し、今回は『浄土和讃』を中心に講読します。

### 真宗史概説

●講 師

北島 恒陽

仏教教育研究センター研究員

●講義内容

真宗の歴史の概要を講義します。まずは親鸞聖人の生涯を振り返ることから始め、聖人の門弟たちの活動や、その後の展開をみていきます。そこから真宗の各派の成立や各派の特徴をみることにします。真宗は戦国時代、高田派に真慧上人、本願寺派に蓮如上人が出て、それまでとは大きく変わっていきます。その戦国時代の真宗の活動とともに、真宗の活動の一形態である一向一揆についてもみていきます。さらにそれに次いで、江戸時代の真宗について、幕府と真宗の関係や教えの特徴といったものをみていこうと思っています。

### 真宗教学史

●講 師

栗原 直子

仏教教育研究センター研究員  
龍谷大学非常勤講師  
高田中高等学校非常勤講師

●講義内容

真宗教学史とは、親鸞聖人によってあきらかにされた真宗のみ教えが、聖人入滅後、どのように解釈され、今日まで受け継がれてきたのかをひもとく学問です。この講義では、様々な書物の講読を通して高田派および真宗他派の教学史を明らかにするとともに、高田派の教学的特徴についても学んでいきます。